

第43回和歌山県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成24年5月25日（金） 13:30～ 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	田中昭彦（委員長） 濱田学昭（委員長代理） 江海康子 木下正美 松本雅博 水城実	
審議対象期間	平成24年1月1日～平成24年3月31日	
抽出案件	総件数 2 件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の設定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	1 件	
条件付き 一般競争入札	1 件	
通常指名競争入札	－ 件	
随意契約	－ 件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】 ○国道311号道路災害応急復旧工事</p> <p>1. A委員 総合評価の地域貢献の加算点について、1点の者と2点の者があるが、この差は何か。</p> <p>2. B委員 失格となった1者の失格理由は何か。</p> <p>3. C委員 もたれ式擁壁はかなり川床部分に掘込んで造ることになるのか。相当量の土砂を移動しないといけないと思われるが。</p> <p>4. A委員 どこへ捨てるのか。</p>	<p>(発注機関：西牟婁振興局建設部)</p> <p>1. 今回、全ての入札参加者に対し大規模災害時の協定締結による1点の加点があり、本店が西牟婁建設部管内にある者についてはさらに1点が加点され、2点となっている。</p> <p>2. 落札候補者となり、書面による技術提案の提出を求めたが提出がなかったため。</p> <p>3. 床掘の際は崩壊した土砂だけでなく地山も掘削する。床掘自体の量はそれほどでもないが、崩壊した土砂の撤去はかなりの量となる。</p> <p>4. 処分場に運搬する予定としている。</p>
<p>【一般競争入札】 ○切目川河川総合開発（切目川ダム本体工）工事</p> <p>1. A委員 大きな工事であり、職員が何らかの意図を付度（そんたく）して、開札時に入札の中身を書き換えたり、総合評価において恣意的な判断を行うといった余地はないか。</p>	<p>(発注機関：河川課)</p> <p>1. 電子入札システムによるため、応札の中身を書き換えることはできない。</p> <p>1. 総合評価点数は、会社名を「A」、「B」等で表記し、会社名を特定できないように作成した資料により、外部の複数の学識経験者による総合評価審査委員会でご審議頂いて決定しており、何らかの意図を付度して恣意的な判断を行うというようなことはできないと考えている。 【事務局回答】</p>

意見・質問	回 答
<p>2. A委員 この案件の総合評価を審議した外部の学識経験者は何人か。</p>	<p>2. 総合評価審査委員会設置要綱で「2名以上」とされており、本案件については2名であった。 【事務局回答】</p>
<p>3. A委員 総合評価の「コンクリートの品質向上についての提案」の項目について、15点の者と7点の者があるが、大手同士でこのような大きな差がつくものなのか。</p>	<p>3. 適切であり優位な工夫が見られる場合15点、適切であるが優位な工夫は見られない場合7.5点、不適切ではないが一般的な事項のみとなっている場合0点の3段階で評価しており、その差である。</p>
<p>4. B委員 どのような手段で公告を行ったか。</p>	<p>4. 入札情報システムに掲載するとともに、県報により公告した。 【事務局回答】</p>
<p>5. B委員 応札前に質問を受付けるのか。受付けるとすれば、どのくらいの質問があったのか。</p>	<p>5. 質問を受付け、回答している。112項目の質問があった。</p>
<p>6. B委員 質問はしたが入札には参加しない者が多かったのか？</p>	<p>6. 応札者が比較的少ない要因としては、和歌山県が談合による損害賠償請求を行っているゼネコン等について入札参加を認めていないことがある。 【事務局回答】</p>
<p>7. B委員 JVの構成員の組み合わせについて、県内業者を含む等の条件はあったのか。</p>	<p>7. WTO 案件なので、そのような条件は設定できない。ただし、県内業者が含まれる場合、総合評価の地域貢献の項目において加点される。</p>
<p>8. C委員 入札公告は英文のものもあるのか。</p>	<p>8. 英文の公告はない。英文は公告の最後の summary (要約) のみとなっている。</p>
<p>9. D委員 本ダムの目的は治水のみか。最近の状況を考えると、計画変更して水力発電についても考えたかどうかというような声はないか。</p>	<p>9. 目的は治水と水道用水。今のところ水力発電という話はない。</p>

【意見交換会】

下記について意見交換を行った。

記

1. 公共工事動向について
2. 新公共調達制度の実施状況について
3. 平成23年度再苦情処理案件の経過について
4. 平成24・25年度入札参加資格（県内建設業）審査定期受付について